

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公開番号】特開2005-347214(P2005-347214A)

【公開日】平成17年12月15日(2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-049

【出願番号】特願2004-168866(P2004-168866)

【国際特許分類】

F 21 V 8/00 (2006.01)

G 02 F 1/1333 (2006.01)

G 02 F 1/13357 (2006.01)

F 21 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21 V 8/00 601 A

F 21 V 8/00 601 B

F 21 V 8/00 601 C

F 21 V 8/00 601 D

G 02 F 1/1333

G 02 F 1/13357

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月13日(2009.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上面に開口部を有する筐体と、前記筐体内に配置された複数の導光棒およびこの導光棒の二つの端面の少なくとも一方に対向して配置されこの端面に向けて光を出射する点状光源から構成される光源ユニットと、前記筐体内の前記光源ユニットより下方に配置され前記光源ユニットから出射された光を前記開口部側へ反射する反射板とを備えた面状光源装置であって、

前記光源ユニットを構成する前記導光棒の少なくとも一部に、前記点状光源からの前記導光棒の長手方向の距離に応じて光出射率を変化させる光出射手段を設けたことを特徴とする面状光源装置。

【請求項2】

請求項1記載の面状光源装置であって、前記光出射手段として、前記導光棒の前記点状光源と対向して配置した端面を除く面を、前記点状光源からの前記導光棒の長手方向の距離に応じて粗度の変化する凹凸面としたことを特徴とする請求項1記載の面状光源装置。

【請求項3】

上面に開口部を有する筐体と、前記筐体内に配置された複数の導光棒およびこの導光棒の二つの端面の少なくとも一方に対向して配置されこの端面に向けて光を出射する点状光源から構成される光源ユニットと、前記筐体内の前記光源ユニットより下方に配置され前記光源ユニットから出射された光を前記開口部側へ反射する反射板とを備えた面状光源装置であって、

前記光源ユニットを構成する前記導光棒は、その長手方向に垂直な断面の面積が変化する

ことを特徴とする面状光源装置。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか一項に記載の面状光源装置であって、前記光源ユニットを構成する前記点状光源は、前記導光棒の二つの端面の少なくとも一方に空間を介して対向するよう配置されていることを特徴とする面状光源装置。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれか一項に記載の面状光源装置であって、前記光源ユニットを構成する前記点状光源として、発光色の異なる複数種類の発光ダイオードを用い、それらの発光ダイオードを 1 本の前記導光棒の前記端面に対向して配置したことを特徴とする面状光源装置。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 請求項 5 のいずれか一項に記載の面状光源装置であって、前記筐体の前記開口部は略長方形であり、前記導光棒は、前記開口部の短辺と平行に配置されたことを特徴とする面状光源装置。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 請求項 6 のいずれか一項に記載の面状光源装置の発光面上部に、前記面状光源装置から出射された光を変調して情報を表示する表示手段を配置したことを特徴とする表示装置。